

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	1
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の 流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策	概要		KPI	目標値		
1 若い世代をターゲットとしたU(I・J)ターンの促進	養父市で生まれ育った若者などへ結うターン(Uターン)を促す取組や回帰を促すアプローチを市民総参加で行い、女性をはじめとする養父市に関わりのある多様なUターンを促進する。		U・Iターン支援制度を利用したU(I・J)ターン者数	50組(累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	8組	31組				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	やぶ暮らし住宅支援事業(重複)	やぶぐらし課	UIJターン者の住環境整備への支援により移住を促進するため、助成や空き家バンクの物件紹介、相談を実施する。	○
	U・Iターン者世帯加算者数	19 組	税務課の固定資産税通知時チラシを同封、空き家活用の意向調査を実施。UIターン等の支度金について検討。	19 組
2	若者未来応援奨学金	学校教育課	就学支援及びUターンと定住促進のため、奨学金の交付及び奨学金の返還猶予・免除を行う。	○
	奨学生の人数	26 人	所得基準の設定、面接の実施、PR時期を1ヶ月早めた。高校を通じたPR、募集学年と人数の再検討を行う。	— 組
③	結婚新生活スタートアップ事業 (旧 結婚結う会いターン推進事業)	やぶぐらし課	新婚夫婦の経済的負担を軽減し若年世帯の移住を促進するため、新婚世帯に最大24万円の補助を行う。	○
	制度を利用し市外から引越した新婚世帯(旧事業)	4 組	制度を全面的に見直し、対象者、金額等を拡大した。移住結婚出産子育てまでの支援をHP、SNS等でPRしていく。	4 組
④	小さな(1アール)農家活動応援事業 (重複)	やぶぐらし課	農ある暮らしの実現のため、空き家とそれに付随した農地を取得し農業を始めた方に補助金を支給する。	—
	小さな農家申請件数	-	土地利用未来課と連携し、空き家所有者への意向調査で農地の意向も確認し、掘り起こしを行っていく。	— 組
5	孫ターン推進事業(重複)	やぶぐらし課	孫世代等との交流による将来的な移住定住に向け、シルバー人材センターに補助し、体験・交流事業を行う。	○
	孫ターン事業開催数	7 回	シルバーで担当チームを組織し企画立案運営の実施。また広報の活用。他部局と連携しプログラム開発にあたる。	— 組

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 多様な事業で構成されており、対象者も幅広く設定されていることから施策に直接効果のある事業で妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業については、PDCAを回すことに意識して実施する。 新婚家庭だけでなく、心機一転再チャレンジを目指す人に対する資金面等の移住支援について検討する。 KPI推移は順調に伸びているが、その後の養父市への定着についても追跡調査を行う。 U・I・Jターン者に限らず、移住者と地域とが連携した地域づくりへの取組みを支援し、その姿を発信することで、市外に向けたPRと地域での受入れ意識の醸成を図る。 また、Uターンの促進においては、進学や就職で市外に出た人、あるいは今後出る若者が帰りたくなるよう、地元でがんばっている若者等のPRを行うこと。

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 1 - 2

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の 流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策	概要			KPI		目標値
1 U・I・Jターン者等による起業・就業の促進	古民家、空き民宿など活用したI・Jターンによる起業やマンパワー不足が課題となっている介護・建設・農業・林業分野でのOJTによる就業を促進する。特に養父市に住む若い女性に対して雇用に関する資格取得等スキルアップを支援し、女性が活躍できる環境をつくることにより、女性のU・I・Jターンを促進する。			U・I・Jターン者のOJT就業・起業者数		25人(累計)
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	3	7				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	地域おこし協力隊活動事業	やぶぐらし課	地域外の人材を誘致し地域力の維持・強化につなげるため、協力隊の活動と自立を支援する。	○
	隊員委嘱者数(累計)	6人	ネットワーク会議を定期開催し連携強化、広報啓発を実施。成果等を地域と共有するため報告会を開催予定。	- 人
②	地域協力隊起業支援事業	やぶぐらし課	協力隊の活動終了後も本市に定着し活躍できる環境を整備するため、起業に必要な経費を補助する。	-
	隊員委嘱者数(累計)	6人		- 人
3	介護人材確保事業	介護保険課	介護人材確保のため、U・Iターン者として就職する者に対し、引っ越し費用や資格取得費用等の一部を補助する。	○
	U・I・Jターン者の就業者数の増加	1人	福祉施設長会議や福祉系専門学校等に周知する。資格取得に関し補助対象や期間の見直しを検討する。	1人
4	労働対策事業	商工観光課	雇用・就業の場の充実と人材育成のため、若手職人育成事業、実践型地域雇用創造事業を実施する。	○
	若手職人育成事業による支援数	3人	専門員等の設置による職業紹介事業等、事業者と求職者のマッチングに繋がる新たな事業を検討する。	3人
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 多様な分野から支援がされており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。新規事業についてはPDCAを回すことに意識して実施する。就業・起業者のその後の定着状況について追跡調査を行う。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	3
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の 流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策		概要		KPI		目標値
1 市内高等学校等との積極的連携		養父市に所在する高等学校や看護専門学校で学んだ人材の地元への就業、定着に繋がる取組を行う。		市内高等学校等から地元就職率		70%
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	68.6%	76.4%				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	高校生就学支援事業	学校教育課	但馬農高の存続発展と地域農業活性化のため、但馬農高に通学する生徒が市内での下宿費用を補助する。	○
	交付対象保護者	1人	学科改編に係る情報収集と影響について農高と情報交換し、生徒と保護者へのさらに工夫した広報を実施。	- %
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	概ねある	概ねある	やや高い	一部見直し
	創生本部コメント 但馬農高、看護学校、第一学院、八鹿高校等、市内の高校に通う域内外の在校生に、インターンシップ等養父市で就職してもらうためのマッチング施策等の追加が必要である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 新規事業を、施策の分析をもとに関係部局で検討を行う。 事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	4
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の 流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策		概要		KPI		目標値
1 空き家を活用した移住・定住の推 進	空き家解消に向けたストックの有効活用を図るとともに、農 地と空き家を組み合わせるなどやぶぐらしを象徴する取組を 推進する。		空き家バンク成約件数		50件(累計)	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	7件	19件				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	やぶの空き家活用支援事業	やぶぐらし課	UIターン希望者の約50%が空き家居住を希望する中、負担 軽減を図り移住促進のため、改修費用を補助する。	○
	やぶの空き家活用件数	2 件	空き家を購入又は賃貸した移住者を対象とするが、条件付 きで所有者が物件を改修する場合も対象とする。	12 件
2	やぶ暮らし住宅支援事業(重複)	やぶぐらし課	UIターン者の住環境整備の支援により移住促進のため助 成や空き家バンクの物件紹介、相談を実施する。	○
	U・ターン者世帯加算者数	19 組	税務課の固定資産税通知時チラシを同封、空き家活用の 意向調査を実施しUIターン等の支度金について検討。	(12) 件
③	小さな(1アール)農家活動応援事業 (重複)	やぶぐらし課	農ある暮らしの実現のため、空き家とそれに付随した農地 を取得し農業を始めた方に補助金を交付する。	—
	小さな農家申請件数	- 件	土地利用未来課と連携し空き家所有者への意向調査の際 に農地についても意向確認し物件の掘り起しを行う。	- 件
4	やぶぐらし情報発信事業	やぶぐらし課	暮らしやすさや魅力のプロモーションにより市への興味 喚起のため、HPやHBでの情報発信を行う。	○
	サイトアクセス数(やぶぐらし総合支 援サイト、空き家バンクHP)	54,551 件	若者、女性等への効果的な情報発信のため、アグリ女子会 で意見を聴き、他部局、関係機関と連携して発信する。	- 回
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 多様な空家の紹介から空き家の修繕まで一連の流れで支援を行っており、有効な事業設定で妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	<p>創生本部コメント</p> <p>各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 土地利用未来課が実施する空き家調査と連携して登録件数の増加へ向け掘り起こしを行うなど、空き家活 用の取組を積極的に行うこと。 対象者の養父市への定着等、転出状況等についても追跡調査を行う。</p>
--------------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	5
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の 流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策	概要		KPI		目標値	
1 市の情報発信体制の充実	市の情報発信体制の充実とあわせ、情報の一元化、受け手の立場に立った情報発信や「やぶぐらし」が見えるストーリー性の高い情報発信に努め、多様なチャンネルを活用することにより市内外・老若男女に情報を行き届かせる。		養父市HP訪問者数		100万回	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	520,775回	559,732回				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	観光宣伝事業	商工観光課	観光交流人口200万人を目指し、効果的なプロモーションを観光協会へ委託。連続的な広報戦略を実施。	○
	観光協会HP訪問者数	319,071 件	関係課と連携しオール養父市の体制を構築。次年度からシティブロモ事業は何かと読めないまち事業に統一する。	- 回
2	やぶぐらし情報発信事業	やぶぐらし課	暮らしやすさや魅力のプロモーションにより市への興味の喚起のため、HPやHBでの情報発信を行う。	○
	サイトアクセス数(やぶぐらし総合支援サイト、空き家バンクHP)	54,551 件	若者、女性等への効果的な情報発信のため、アグリ女子会で意見を聴き、他部局、関係機関と連携して発信する。	- 回
3	続々・なにかと読めないまち事業	商工観光課	効果的な広報活動によるPV数向上のため、誘客フェアや商談会等での魅力の発信を行う。	○
	WEB上のプロモーション動画再生回数	255,096 回	関係部署と連携した統一的なプロモーションの実施。こちらから迎えに行くツアー等で市民の巻き込みを行う。	- 回
4	広報事業	情報課	市内外に対し広く市政やまちの話題を提供するため、広報誌、ホームページ等により情報を発信する。	○
	市ホームページ訪問者数	559,732 回	見やすいレイアウトと雰囲気づくりに取り組む。結果報告的な記事だけでなく、事業と関連づけた情報発信に努める。	559,732 回
⑤	北近畿道延伸に伴う誘客巻き返し事業	商工観光課	北近畿自動車道の延伸を好機として新規既存イベントの拡充に関する広告宣伝をWEB・SNS中心で実施する。	-
	観光交流人口の増	- 万人	HPからSNSへ展開する情報発信等統一的な広報を行う。対象者を絞った情報発信をメディアを活用し実施する。	- 回

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	概ねある	どちらかというところ	やや高い	一部見直し
	創生本部コメント 事業は設定されているものの、イベントについては継続的な注目につながる取組が必要。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。新規事業についてはPDCAを回すことに意識して実施する。個別で情報発信を行っている現状について、全庁的に統一感のある情報発信が行えるよう情報発信体制を抜本的に見直す。対象に応じた内容や媒体の工夫、時期を考慮した、戦略的な情報発信を行うこと。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	1
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 6次産業化の推進と拠点の整備 【特区関連】	農家・事業者の6次産業化を促進する加工機能・ノウハウを提供する仕組みを確立するとともに、農家・事業者らが行う6次産業化への取組を推進する。		6次産業化への取組農業者・経営体数	15経営体(累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	1	4				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	儲かる農業支援事業	農林振興課	農産物の安定生産、品質向上、6次産業化等の推進のため生産力強化等の儲かる農業モデル形成を支援する。	○
	6次産業化施設整備補助件数	3件	前年度の状況より当初予算額を増額、次年度の予算編成前に事業の周知と要望調査を実施する。	3経営体
②	6次産業化支援センター施設管理費	商工観光課	6次産業化・農商工連携の推進支援のため、活動の場の提供と6次産業化の普及・促進、相談受付を行う。	—
	施設への入居事業者数	—	指定管理者と連携し、施設の利用促進と6次産業化を推進する。	—
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業についてはPDCAを回すことに意識して実施する。 KPI推移は伸びているが、当該事業者等のその後について追跡調査する。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	2
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要			KPI	目標値	
2 朝倉山椒等のブランド化と攻める農業・産地化の推進【特区関連】	養父市発祥の朝倉山椒の生産拡大をさらに進め、多様なニーズにあわせた加工等により付加価値を高めることで新たな販路の開拓や世界ブランド化を推進するとともに、従来栽培されてきた農産物にとられない新しい農産物の栽培、産地化への取組や都市部での販売など新たな販路開拓の取組を推進する。			朝倉山椒出荷販売数	75,000千円	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	17,785千円	21,475千円				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	産地化形成補助金事業(さんしょ、ゆず)	農林振興課	産地確立と発祥地の優位性を活かしたPRや世界ブランド化を推進するため、苗木購入費と団地化資金を補助する。	○
	朝倉山椒出荷販売数	21,475 千円	朝倉山椒組合の生産効率向上や後継者育成を支援。また新たに10a規模で生産開始する事業者の調査を行う。	21,475 千円
②	地域公共会社経営委託事業	企画政策課	地域経済の再生のため、地域産品の海外販売、地域新規企画相談・支援等の地域経済振興の公共的業務を行う。	—
	地域における新事業の相談、事業化等企業支援	10 件	6次産業化支援センター指定管理事業による企業支援活動の取り組みを充実させる。	- 千円
3	特産品販路開拓支援事業	商工観光課	特産品の出荷販売額増のため、展示会等への出店、販促物の作成、クラウドファンディングの活用支援を実施。	○
	展示会・商談会等への市内特産品の出店回数	4 回	H29年度はクラウドファンディング募集は実施しない。販路拡大に対応可能な事業者、商品の選択と支援を実施。	- 千円
4	農産物販路拡大支援事業	農林振興課	農産物の都市部への販路拡大を実施する農業者に対する活動支援のため、移動費や宣伝費等の補助を実施する。	○
	都市部で農産物販売を行った事業者数	2 件	新規参入の事業者に重点を置く。朝倉山椒等の養父市特産品も事業者独自で販路拡大を図る必要がある。	- 千円
5	産地化形成補助金事業(にんにく)	農林振興課	にんにくの生産者の増加を図るため、にんにくの種子購入費の一部を補助する。	○
	にんにく生産者数	22 人	資材・設備等の購入費も補助対象とした。新規参入者を増やすため事業の周知性を高める。	- 千円

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	概ねある	やや高い	一部見直し
	創生本部コメント ブランド化においては加工商品の販売額も重視していることから加工関連商品販売額についてもKPIに追加する。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 多様な事業で構成されており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業についてはPDCAを回すことに意識して実施する。 現在のKPI推移では目標達成が厳しいため、供給体制の確保及び販売元の一本化などブランド確立に向けた取組を推進する。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	2
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 朝倉山椒等のブランド化と攻める農業・産地化の推進【特区関連】	養父市発祥の朝倉山椒の生産拡大をさらに進め、多様なニーズにあわせた加工等により付加価値を高めることで新たな販路の開拓や世界ブランド化を推進するとともに、従来栽培されてきた農産物にとられない新しい農産物の栽培、産地化への取組や都市部での販売など新たな販路開拓の取組を推進する。		朝倉山椒出荷販売数	75,000千円		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	17,785千円	21,475千円				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
6	有機の郷づくり推進事業費	農林振興課	有機農業や環境創造型農業の普及拡大のため、良質な堆肥の散布や有機JAS認定の手数料を一部補助を行う。	○
	有機JAS認定申請支援	12件	計画生産を実施と堆肥散布組合でも早期の散布体制を整える。更なる広報周知と新規就農者等に制度を紹介する。	- 千円
7	養父市コウノトリ放鳥推進事業	環境推進課	農地の保全、子どもたちの情操教育の向上、環境保全の推進のため、伊佐放鳥拠点での幼鳥のソフトリリースを行う。	○
	コウノトリ幼鳥の放鳥数	2羽	ビオトープ田等の放鳥拠点周辺管理にコウノトリファンクラブの補助支援を受け地元負担の軽減を図る。	- 千円
8	有害鳥獣防護対策事業	環境推進課	農作物被害を軽減し農業・農村の基盤を守るため、有害鳥獣の捕獲と防護柵設置の助成を行う。	○
	シカの捕獲数	2,514頭	銃器による捕獲反体制を再構築し銃猟駆除活動の活性化を図る。捕獲物の有効活用等、地域資源化を推進する。	- 千円
9				
10				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
----------------	----------



まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	3
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要		KPI	目標値
2 多様な起業・創業の促進	農業・林業・観光・子育て・福祉分野をはじめ幅広い起業・創業の立ち上げを促進するとともに、販路拡大、技術・業務提携、資金調達など一貫した成長発展を促す仕組みを構築する。		起業・創業支援制度を活用した起業・創業件数	30件(累計)
KPI推移	H27 0件	H28 5件	H29	H30
			H31	備考

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	創業・事業承継支援事業	商工観光課	創業・事業承継を促進するため、創業塾の開催による知識の習得と起業・第二創業時の経費の補助を行う。	○
	起業者支援事業による補助件数	8件	6~10月を一次募集期間としニーズを見極める。補助金が有効活用されるよう、商工会と連携する。	5件
2	養父市企業支援センター事業(拡充分)(重複)	商工観光課	経営革新や事業拡大等の支援のため、景況調査の実施とマッチングサイト「やぶ Biz」を管理運営する。	○
	やぶ Biz登録事業者数	95社	市の企業支援策等の情報の追加。事業者、製品・雇用情報等、全ての情報を網羅したサイトとして活用する。	-件
3	養父市企業支援センター事業(重複)	商工観光課	商工業者の経営革新や事業拡大の支援のため、専門家派遣による相談業務を行う。	○
	専門家派遣による相談件数	76件	経営改善等の相談は商工会職員で対応するよう依頼した。	-社
④	6次産業化支援センター施設管理費(重複)	商工観光課	6次産業化・農商工連携の推進支援のため、活動の場の提供と6次産業化の普及・促進、相談受付を行う。	-
	施設への入居事業者数	-	指定管理者と連携し、施設の利用促進と6次産業化を推進する。	-件
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業についてはPDCAを回すことに意識して実施する。 現状のKPI推移では目標達成が厳しく、金融機関と連携した窓口相談の強化など起業・創業にあたっての不安を取り除く取組や、成功事例のPR等により起業・創業意識を高める取組を行う。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	4
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要		KPI	目標値
2 農業を担う人材・経営体の育成 【特区関連】	新規就農者への支援の充実、雇用の受け皿となる法人化を促進することにより、農業の担い手を育成する。また、おおや高原・轟高原などの特徴あるロケーションでの農業の担い手を呼び込む仕組みを構築する。		新規就農者・経営体数	20人(社) (累計)
KPI推移	H27 7社/0人	H28 11社/3人	H29	H30
			H31	備考

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	担い手経営発展支援事業	農林振興課	農業経営の法人化及び集落営農の組織化の取組み支援のため、補助金を交付する。	○
	農業経営体の法人化数	3社	法人化の手続きや地域との調整のため説明会を実施し、事業完了までの円滑化を図る。	4社
2	担い手総合支援事業	農林振興課	意欲ある経営体の規模拡大支援のため、農業次世代人材投資資金制度により新規就農者に補助金を交付する。	○
	新規就農者数	3人	農業大学へのアプローチや移住促進イベント等で募集を実施する。地域や団体等と連携体制を確立する。	3人
3	担い手総合支援事業(農学セミナー)	農林振興課	農業の専門的な知識を学べる場として、但馬農校・鳥取大学・関西大学と連携し、講義を行う。	○
	農学セミナー受講生	15人	年齢制限を65歳以下として受講生の増を図った。学ぶ意思のある方に来てもらうよう年齢制限の撤廃を検討する。	-人(社)
4	養父市Lプロジェクト事業	農林振興課	女性の農業分野への進出と農業の活性化のため、女性向け草刈機の普及拡大を通じて農業の実践を奨励する。	○
	農業女子・農業を志す女子に対する草刈機の安全講習会の参加者数	51人	中山間地に適した改良はできていない。女性向け草刈機の販売台数が増えず、新たな改良に踏み込めない状況。	-人(社)
⑤	アグリイノベーションスクール開設事業	農林振興課	儲かる農業を可能にしようとする意欲ある事業者の支援のため、座学・実習を春～秋季に毎週末講義を行う。	-
	スクール受講生数	-	-	-人(社)

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 農業経営の法人化、新規就農支援等多様な事業で構成されており妥当であるが、Lプロジェクトについては設立予定のアグリ女子会との連携により統合を含めて検討する。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。新規事業についてはPDCAを回すことに意識して実施する。規模の大小にかかわらず、新たに農業を始めようとする人への、相談窓口を含めた切れ目のない農業支援が必要。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	4
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 農業を担う人材・経営体の育成 【特区関連】	新規就農者への支援の充実、雇用の受け皿となる法人化を促進することにより、農業の担い手を育成する。また、おおや高原・轟高原などの特徴あるロケーションでの農業の担い手を呼び込む仕組みを構築する。		新規就農者・経営体数	20人(社) (累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	7社/0人	11社/3人				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
⑥	耕作放棄地再生対策事業	農地政策課	担い手への農地確保、農業経営の開始に資するため、農地へ再生する整備・土地改良費用に補助金を交付する。	—
	耕作放棄地再生面積	- a	制度の周知を図り、農業者・新規就農者に補助金を活用してもらう。	— 人(社)
7				
8				
9				
10				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
----------------	----------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 2 - 5

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要		KPI	目標値
2 企業立地の促進と規模拡大・第2創業などがんばる事業者の支援	新たに立地する企業への支援や第2創業、事業拡大、設備の近代化、見本市への出展、新エネルギー設備の導入など頑張る市内事業者を支援し、商工業の振興を図る。		企業立地・規模拡大等支援した事業者数	のべ100社 (累計)
KPI推移	H27 21社	H28 42社	H29 -	H30 -
			H31 -	備考

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	企業等振興奨励金事業費	商工観光課	商工業者の経営革新や事業拡大の支援のため、奨励措置を行う。	○
	事業拡充、新規創業、販路開拓などに対する奨励措置	54 件	PRチラシを刷新し、人材不足に対する補助を求める傾向があり、新たな奨励措置等について検討する。	21 社
2	養父市企業支援センター事業(拡充分)(重複)	商工観光課	経営革新や事業拡大等の支援のため、景況調査の実施とマッチングサイト「やぶビズ」を管理運営する。	○
	やぶビズ登録事業者数	95 社	企業支援策等の情報の追加。事業者、製品・雇用情報等、全ての情報を網羅したサイトとして活用する。	(9) 社
3	養父市企業支援センター事業(重複)	商工観光課	商工業者の経営革新や事業拡大の支援のため、専門家派遣による相談業務を行う。	○
	専門家派遣による相談件数	76 件	経営改善等の相談は商工会職員で対応するよう依頼した。	(9) 社
4	商工業融資事業費	商工観光課	中小企業の運転・設備投資、経営革新を支援するため、債務負担保証、利子補給を行う。	○
	中小企業融資制度	6 件	融資利率を改定した。情報交換会等を設け、周知と利用促進を図る。市の各支援制度との連携する	(3) 社
⑤	6次産業化支援センター施設管理費(重複)	商工観光課	6次産業化・農工商連携の推進支援のため、活動の場の提供と6次産業化の普及・促進、相談受付を行う。	-
	施設への入居事業者数	-	指定管理者と連携し、施設の利用促進と6次産業化を推進する。	-

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 企業立地、事業拡大、マッチングなど多様な事業設定がされており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業についてはPDCAを回すことに意識して実施する。 当該事業者のその後の状況について追跡調査する。 制度の活用事例については積極的にPRする。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	5
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要		KPI	目標値
2 企業立地の促進と規模拡大・第2創業などがんばる事業者の支援	新たに立地する企業への支援や第2創業、事業拡大、設備の近代化、見本市への出展、新エネルギー設備の導入など頑張る市内事業者を支援し、商工業の振興を図る。		企業立地・規模拡大等支援した事業者数	のべ100社 (累計)
KPI推移	H27 21社	H28 42社	H29	H30
			H31	備考

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
6	養父市ブランド創出事業費	商工観光課	経営革新や事業拡大等の支援のため、景況調査の実施とマッチングサイト「やぶBiz」を管理運営する。	○
	ブランド認定品の新規登録数	4 点	企業支援策等の情報の追加。事業者、製品・雇用情報等、全ての情報を網羅したサイトとして活用する。	(2) 社
7	企業誘致促進事業費	商工観光課	経済及び雇用の活性化のため、市外企業等に対し産業立地施策等をPRし、当市への企業進出を促す。	○
	誘致フェアへの出店	1 回	民間不動産業者と協力し、HPやぶBizに空き工場や事業用地の情報提供を行う。物件の充実を図る。	(0) 社
⑧	観光施設等整備事業費(暖冬対策工事)	商工観光課	暖冬時の市内経済への悪影響を軽減するため、暖冬対策工事に補助する。	—
	年末年始の来場者数	2,955 人	経営者と地域が一体で事業を行うスキー場を支援した。自己資金が無いスキー場等の場合の対応を検討する。	-
9				
10				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
----------------	----------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	6
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要		KPI	目標値
2 近代化産業遺産の活用	兵庫県が推進する「鉱石の道」プロジェクトと連携し、明延鉱山「一円電車」の復活等による観光資源に磨きをかける取組を推進する。		明延地区の年間来訪者	100,000人
KPI推移	H27 13,693人	H28 12,613人	H29	H30
			H31	備考

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	明延活性化事業	大屋地域局	明延鉱山遺産を活用し地域経済の活性化等を図るため、一円電車の運行や探検坑道等の史跡を活用する。	○
	一円電車安全運転講習会受講者	10人	電車の運行を増やし、活性化計画を策定する。「日本遺産」の認定を活かし遺産群の保存再生、活用を行う。	12,613人
2	あけのべ自然学校運営事業	商工観光課	教育活動推進と地域の経済及び雇用活性化のため、明延地域に誘客する。	○
	誘客行動	1回	養父市版DMOと連携して観光客の周遊と、繁忙時のスタッフの派遣をうけ、WEBやSNS等の営業を強化する。	(12,613)人
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPI推移が伸びていない。昨年からの指摘のとおり自立可能な地域づくりに向けて、日本遺産認定・重要伝統建造物群保存地区選定を契機として来訪者から必要な対価を得られるよう早急に仕組みを構築すべき。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	7
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 伝統産業のイノベーションプロジェクトの推進	伝統産業であった養蚕産業を従来のシルク製品にとどまらず、美容健康分野、医学的利用も視野に入れた新たな産業として再生の可能性に向けた検討を行う。また、養蚕と関わりの深い養鯉産業の再生もあわせて検討する。		養蚕関連事業に取り組む事業者数	1事業者		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	0事業者	0事業者				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	養蚕プロジェクト事業	企画政策課	養蚕の再評価を基に新産業を興すため、研究会の開催及び他市や大学等と連携し新産業事業所を設立する。	○
	研究会の開催	2回	新産業を興すための足掛かりとして関係機関のヒアリングや研究会を実施する。	0事業者
2	伝統的建造物景観調査事業費	社会教育課	重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けて調査事業を推進する。	○
	建造物調査報告書の作成	0件	関係各課の支援を得た。選定後の運用体制の検討、保存会等との連携、空き家対策、全体計画の策定を行う。	1事業者
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 養蚕産業に関心を持つ事業者と意見交換を行い、新技術の利活用方法について関係機関との協議を重ねる中、立ち上げに関心を持つ事業者とは協議しており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 今後事業の立ち上げに向け、市として取り得る施策について関係部局と検討する。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	8
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 生活と観光をミックスさせた情報・交通アクセス手段の構築	観光客や来訪者の利便性の向上を図るため、Wi-Fiなどの情報通信基盤や定額タクシーなど新たな交通アクセス手段を構築する。		新たな交通アクセス手段の利用者数	1,000人		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	1人	104人				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	定額観光タクシー事業	商工観光課	2次交通アクセスの確保により利便性を高め交流人口200万人達成のため、定額観光タクシーを実施する。	○
	問い合わせ件数	6,600 件	JRや高速バス利用客をターゲットに広報を行う。プロモーションを強化し当日受付等利便性の向上を検討する。	104 人
2	高速バス利用者駐車場整備	人権・協働課	市民及び市外の来訪者がバス利用をしやすい環境を作るため、高速バス利用者駐車場を整備する。	○
	整備工事一式	7,633 千円	案内看板の設置、駐車場でのイベントで周知を図る。定額タクシー等の新たな交通アクセス手段を構築していく。	- 人
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	概ねある	概ねある	やや高い	一部見直し
	創生本部コメント 全但バス等の既存の運送事業者との連携を通じた、その他の二次交通に関する新たな取組が必要である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 支出に見合った効果となるようタクシー事業者等で検討しているあらたな自家用有償運送制度の仕組みを活用し、観光客や地域の利便性向上を図るための仕組みの構築に努めるべき。
----------------	---



まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	1
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担 い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策		概要		KPI		目標値
3 男女の出会いづくりと好感度の 向上		独身男女の出会いやお見合い等のカップリングをコーディネーターする人材や団体を育成し、出会いの機会をつくるとともに、自分磨きや異性との関わり方を学ぶセミナーなどの開催により、異性との関わりが円滑にできる男女を増やす。		世話人等による成婚数		15組(累計)
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	3組	6組				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	縁結び奨励金交付事業	やぶぐらし課	縁結び世話人制度により婚活支援を行い、世話人の労力により結婚・定住した場合、世話人に奨励金を交付する。	○
	世話人等の協力を得たイベント数	5回	世話人としての役割を理解してもらうとともに、世話人としてのスキルアップの研修を継続的に実施する。	1組
2	婚活支援事業補助金交付事業	やぶぐらし課	出会いの場の創出を促進し成婚数の増加を図るため、出会いの場、セミナー等の実施団体に補助金を交付する。	○
	イベント件数(婚活支援事業補助金以外も含む)	10回	婚活支援の担い手を発掘するため、関係機関等に依頼。ニーズに応じた出会いが提供できるよう支援していく。	-組
3	出会い応援セミナー事業	やぶぐらし課	コミュニケーションの苦手意識の克服のため、会話術やマナー等の向上セミナーと合わせた出会いイベントを委託。	○
	セミナー等開催件数	2回	協力隊(結婚・仲人)と連携し、イベント後のフォローアップ等の継続した支援を行う。	-組
4	結婚相談事業補助金	社会福祉課	成婚と地域活性化のため、結婚相談員の設置、結婚相談所の開設等、社協への補助を行う。	○
	成婚数	2組	日常的な紹介・相談活動の支援に努め、情報収集や市内相談員の連携強化、フィールドの拡大に取り組む。	2組
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 幅広い婚活支援が行われており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 婚活イベントについては出会いの機会を作るだけでなく、成婚に繋がっているかカップル成立後の追跡調査等を行い必要な改善を行う。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 3 - 2

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担 い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策		概要		KPI		目標値
3 子どもを持ちたい希望をかなえる		不妊、不育に悩む夫婦や子育てが家族が希望する人数の子 どもを持てるよう支援し、経済的負担を軽減する。		中学生以下の子どもを持つ 世帯のうち多子世帯の 割合		60%
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	57%	56%				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	特定不妊治療費助成事業	健康課	出生率向上のため、特定不妊治療に係る費用を県助成金 を除く全額を対象に助成する。	○
	助成件数	39 件	助成額の上限45万に設定。相談しやすい体制を整え、また 不育症についても周知し治療費助成も推進する。	56 %
2	多子世帯負担軽減事業	こども育成課	子育て環境の向上に資するため、多子世帯における保育 料の一部を補助する。	○
	補助対象児童数	34 人	県の補助制度であり、引き続き県と連携し保育料の負担軽 減を行う。	(56) %
3	多子世帯給食費負担軽減(参考)	学校給食センター	子育てに係る経済的負担を軽減するため、第2子以降の給 食費を半額にする。	
	—	-		
4	多子世帯保育料軽減(参考)	こども育成課	子育てに係る経済的負担の軽減のため、小学校6年生まで の範囲で保育料を2子目半額、3子目以降無料にする。	
	—	-		
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 子どもがほしい夫婦を支援し、多子世帯について保育料や給食費など子育てにかかる経済的負担を軽減 する事業が設定されており妥当である。 事業開始当初は特定不妊治療等の事業により初産が増えるほど多子世帯の割合が減少することに留意 が必要。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
--------------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	3
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担 い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要			KPI		目標値
3 妊娠から子育て期までの切れ目 ない支援を展開	妊娠期から子育て期までの様々な支援をワンストップで切 れ目なく展開するため、相談体制の充実と医療費、保育料 の負担軽減を図る。また、雨天・冬季でも子どもが安全に遊 べ、親同士のコミュニティの場となる環境を整備する。			この地域で子育てをして いきたい親の割合		80%
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	71%	70%				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	母子保健事業費(産後ケア事業)	健康課	安心して子育てができる支援として、産後3ヶ月未満の母子 を対象に心身のケア、乳児のケア等を実施する。	○
	宿泊型利用	68 日	利用者が増え過ぎるのであれば利用料金を対象者の選定 の見直しを行う。	70 %
2	母子保健事業費	健康課	安心して前向きに育児に取り組むことができるように、妊娠 期から専門家や地域とつながりを持つよう支援する。	○
	妊娠のフォロー実施率	94 %	管理シートの改訂や支援プランを作成しケースに沿った支 援を展開。妊娠期から3歳までの支援体制を整備する。	(70) %
3	子育てヘルパー事業	こども育成課	育児の不安感、負担感の解消、技術の継承のため、ヘル パーによる家事援助、育児支援を行う。	○
	ヘルパー派遣利用者数	6 人	生後3ヶ月→3歳(年度末)まで対象世帯を拡充。健康課等 の関係各課と連携し、ニーズ把握と対策を講じる。	(70) %
4	感染症予防事業費(定期・予防接種 等)	健康課	感染症のり患を防ぐため、定期予防接種の啓発と勧奨を実 施する。	○
	小児の定期予防接種率	85 %	2期のの案内と合わせて1期未接種者へ勧奨を行う。勧奨 を行う年齢を決めて継続的な勧奨を行う。	(70) %
5	乳幼児等医療費助成事業費(乳幼 児等医療助成)	保険医療課	乳幼児等が安心して医療サービスが受けられるように、小 学校3年生までの医療費自己負担分を全額助成する。	○
	乳幼児医療費助成給付件数	25,815 件	学校等での怪我等については、加入している保険を使うよ う呼びかけと、医療機関と連携する。	(70) %

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 妊娠期からの切れ目ない支援がされており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント
	各事業について今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 「この地域で子育てをしたいと思わない」の回答の理由を精査し、新たな事業の検討に活かす。 各種事業や取組について、幅広い層にPRすること。

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 3 - 3

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担 い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
3 妊娠から子育て期までの切れ目 ない支援を展開	妊娠期から子育て期までの様々な支援をワンストップで切 れ目なく展開するため、相談体制の充実と医療費、保育料 の負担軽減を図る。また、雨天・冬季でも子どもが安全に遊 べ、親同士のコミュニティの場となる環境を整備する。		この地域で子育てをして いきたい親の割合		80%	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	71%	70%				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
6	こども医療費助成事業	保険医療課	小4から中3までの子が安心して医療サービスを受けられる よう、医療費の自己負担額を全額助成する。	○
	助成件数	11,893 件	学校等での怪我等については、加入している保険を使うよ う呼びかけと、医療機関と連携する。	(70) %
7	母子家庭等医療費助成事業	保険医療課	母子父子家庭、遺児が安心して医療サービスを受けられる よう、医療費の自己負担分の一部を助成する。	○
	助成件数	949 件	申請(更新)漏れを防ぐため関係課と連携し制度の周知を 徹底する。	(70) %
8	母子保健事業(未熟児養育医療)	保険医療課	専門医療が必要な未熟児とその親が安心して医療サービ スが受けられるよう医療費の自己負担分を全額助成する。	○
	助成件数	0 件	関係課と連携し制度の周知を徹底する。	(70) %
9				
10				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント
--------------------	----------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	4
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担 い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要			KPI	目標値	
3 子育て支援グループ育成事業	身近に子育ての相談する相手がいない親の悩みを解消す るため、子育てにかかる情報提供や、相談・助言等を行う 支援グループを育成し、子育て中の親子が気軽に集い、情 報交換や相談ができる場をつくる。			子育て支援活動実施回 数	500回	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	322	509				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	地域子育て支援拠点事業	こども育成課	子育ての不安感、孤独感の解消のため、交流や相談ので きる場の提供を行う。	○
	子育て支援グループ等の研修会、 講座回数	245 回	開設日を3日→5日に拡充。子育て団体のない大屋地域に 出張ひろばを開設。法人等と連携強化を進める。	509 回
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント 事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 実施回数その他、利用者アンケート等により子育ての悩みが解消されているのか等の質の部分についても 指標を示すこと。
--------------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	5
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担 い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI		目標値	
3 「農」を学ぶグローバル人材の育成	産業としての「農」や暮らしの中の「農」を学ぶ(体験する)仕 組みづくりにより、農や食に精通する次世代を担うグローバ ルな人材を「グノー(農)バル人材」として育成する。		小学校で農を体験する児 童の割合		100%	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	100%	100%				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	環境体験事業	学校教育課	命の営みや大きさを学ぶため、里山、田畑、水辺、地域の 分野の講師を招くなど体験学習を行う。	○
	農業体験学校数	9校	特区事業者や関係団体との連携の状況把握と人数の拡大 を行う。	100%
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント 事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 各校で行われている取組を集約して共有し、質を高めていくこと。
--------------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 3 - 6

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担 い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
3 養父市独自の小中一貫教育体制の構築	児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある学習指導・生活指導を行うとともに、各校への相互乗り入れ授業等を取り入れるなど養父市独自の小中一貫教育体制を構築する。		小中一貫教育学校数	13校(全校)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	6	6				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	小中一貫調査研究事業	学校教育課	小中一貫教育及び小中連携に向け、コーディネーターの配置と研修会の開催、児童生徒等の交流会を行う。	○
	小中一貫教育の取組校	6校	H29から全校区展開し取組の情報提供と、学校運営協議会を設置し地域とともにある学校の仕組みを作る。	6校
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント H29年度から全校区で実施していることから、次の展開として小中一貫教育の取組により中一ギャップが緩和されているか等をKPIとして設定する。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	1
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
4 健康・体力づくりの推進	生活習慣病の予防と改善、健康寿命の延伸のため、壮年期からの健康づくりのため、運動や体力づくりを推進する。		週1回以上運動している人の割合	42%		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	35.6%	35.6%				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	健康プロモ推進事業	健康課	健康寿命の延伸に資するため、健康管理アプリを企業ぐるみで活用する。	○
	健康ナビ参加者数(申請人数)	447 人	小規模事業所との連携方法の検討。健康経営の視点が持てるような研修会等も行う。	35.6 %
2	健康づくり推進事業	健康課	市民、地域団体等が協力し積極的に継続した健康づくりに取り組むため、やっぱー健康ポイント事業を実施する。	○
	健康ポイント参加者数(申請人数)	7,703 人	健康ポイントは継続しつつ、青壮年層の運動習慣確立にむけ企業と連携した新たな健康づくりに取り組む。	(35.6) %
3	スポーツ振興事業	生涯スポーツセンター	健康づくりの推進と競技団体の活動支援のため、スポーツ系団体への補助等を行う。	○
	市民が自主的に実施するスポーツ大会の参加者数	6,522 人	自治協に体力測定会を促し開催数の増。ターゲットを絞った健康づくりメニューと健康支援、情報発信を行う。	(35.6) %
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 今後、青壮年層のアプローチを強化する予定であり妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 企業へのアプローチに際しては、ワークライフバランスを推進する事業との連携を図ること。
----------------	--



まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	2
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要			KPI		目標値
4 高齢者の生きがいがづくりと社会参加の促進	高齢者の就労ニーズに合わせた就労に関する取組を推進する。特に国家戦略特区の規制緩和も視野に入れ(公社)養父市シルバー人材センターによる地域課題の解決(農、観光、子育て、福祉分野など)に資する取組を促進する。			シルバー人材センターの斡旋による高齢者の就労数		50,000人日
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	48,468人日	48,028人日				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	放課後ふるさと教育事業(重複)	こども育成課	養父市を愛する心の醸成を図るため、シルバー人材センター等の会員による文化や技術の継承を行う。	○
	ふるさと教育実施回数	39 回	学童クラブに加えこども園でも実施した。他団体の活用に向け講座内容を検討する。	135 人日
2	子育てヘルパー事業(重複)	こども育成課	育児の不安感、負担感の解消、技術の継承のため、ヘルパーによる家事援助、育児支援を行う。	○
	ヘルパー派遣利用者数	6 人	生後3ヶ月→3歳(年度末)まで対象世帯を拡充。健康課等の関係各課と連携し、ニーズ把握と対策を講じる。	24 人日
3	高齢者生きがい活動支援事業	農林振興課	高齢者の生きがいがづくりと社会参加の推進のため、有機農産物の流通拡大、営農等の体験機会を提供する。	○
	勇気をもって有機栽培事業就業延べ人員	477 人	学びある田舎暮らし事業が終了→シルバー人材センターから新事業提案を募集する。	1,049 人日
4	老人福祉一般事務費(シルバー人材センター補助金)	社会福祉課	「生涯現役社会」実現のため、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業、地域就業機会創出・拡大事業を実施。	○
	会員数の拡大	457 人	定期的な入会説明会の開催等により会員の募集をすとも、就業開拓、就業機会の提案、促進、開拓を推進。	46,820 人日
⑤	健康な食の拠点づくり事業	健康課	高齢者の生きがいがづくりや健康づくりの推進のため、シルバーが万灯の湯で食を中心とした事業を実施。	—
	シルバーの就業時間	- 時間	3年間で独立採算が取れるように支援していく。	- 人日

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。 雇用機会確保のため、事業性を持つべき取り組みについては、一定期間後に補助金なしで継続できるような取組にするべき。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 就労数だけでなく、組織率の向上も意識して事業を実施する。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 4 - 3

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る	◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要	KPI	目標値		
4 疾病予防と健康づくりの推進	高齢になっても健康で住み慣れた地域で元気に暮らせるよう、若いときからの健康づくりとまちぐるみできめ細やかな健康管理・疾病の早期発見と生活習慣病予防を図るための取組を進める。	特定保健指導利用率	60%		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31
	32%	38%			備考

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	健康増進事業	健康課	生活習慣病の有病者や予備軍を減少させるため、保健師や管理栄養士が働きかけやアドバイスを行う。	○
	特定保健指導未利用者勧奨数	149人	検査項目を一部無料化し、八鹿病院では当日保健指導を実施した。効果継続できる指導支援を実施する。	38%
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 4 - 4

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
4 公立八鹿病院、市立診療所の医師確保による医療機関の安定運営	継続的かつ安定的な医療提供のため、公立八鹿病院の深刻な医師不足及び市立診療所の医師の高齢化に対応する取組を実施する。		八鹿病院医師数	45人		
KPI推移	H27(H28.4.1)	H28(H29.4.1)	H29	H30	H31	備考
	41人	36人				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	やぶ医者プロジェクト事業	保険医療課	医師不足解消のため、八鹿病院及市立診療所の医師確保を図る。	○
	医学生入学時特別就学金交付件数	2件	中堅医師と専門医の確保の要望を行い、事業を通じて医師を大切にする町であることをPRする。	36人
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント KPIに直接効果がある事業設定で妥当であるが、特別就学資金交付対象者の勤務が今年度から始まることに留意が必要である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	5
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
4 介護予防の推進	地域ぐるみでの介護予防の場を拡大することを推進し、地域において自立支援に資する取組やすべての高齢者が生きがい・役割をもって生活できるための取組を推進する。		毎日元気にクラス開催箇所	60箇所(累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	13箇所	26箇所				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	介護予防事業(虚弱予防事業)	介護保険課	健康寿命を延伸するため、高齢者の虚弱化予防プログラムとの拡大と、各地区の虚弱予防教室を支援する。	○
	実施地区数の増加	13 地区	2か所をモデル地区として自治協主体で元気にクラスを開催、生活支援コーディネーターの介入により継続支援。	13 箇所
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	6
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策		概要		KPI		目標値
4 見守りや支え合いの仕組みの充実		支援を必要とする市民(高齢者、障がい者、乳幼児・児童生徒)が住み慣れた地域で安心して暮らすため、地域住民の支え合いを深め、地域ぐるみの支援体制を充実する。		安心見守りネットワーク参加団体数		50団体
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	42	50				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	安心見守りネットワーク事業	社会福祉課	住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりのため、相互連携により見守りネットワークを構築、強化する。	○
	安心見守りネットワーク参加団体数	50 団体	新たな団体・事業者等への参加働きかけと、報告・連絡等に関する活動状況把握の強化、またPR等を行う。	50 団体
2	地域支え合い買い物支援事業	社会福祉課	買い物機会の確保と地域における見守り活動を促進するため、移動販売事業者への補助による支援を行う。	○
	移動販売事業者の維持拡大	9 事業所	ニーズの把握に努め、また安心見守りネットワークへの参加について広報等積極的働きかけを行う。	- 団体
3	地域支援事業(緊急通報システム、緊急情報キット)	介護保険課	支援を必要とする市民が安心して地域で生活できるよう、緊急通報システムの設置や緊急情報キットを配布する。	○
	緊急通報システム設置者数	178 人	啓発と、緊急情報キットの情報の更新の声掛けを行い、障がい者への支援等、対象者の見直しを検討する。	- 団体
4	共助の基盤づくり事業	社会福祉課	地域住民相互の共助の取組の活性化と地域福祉の推進のため、訪問によるニーズの把握や支援を行う。	○
	生活困窮世帯等への訪問件数	1,030 件	高齢者だけでなく幅広い生活困窮者への支援の実施、相互の支援体制の構築と関係課と連携し課題解決を行う。	- 団体
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 参加団体数が50団体となったが、取組について参加団体のみでなく市全体で共有することで、見守りや支え合いの仕組みを引き続き強化していく。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	7
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI		目標値	
4 協働のまちづくりの推進(小さな拠点機能の充実)	地域自治組織、NPO、社会福祉協議会などが地域の特色を活かしながら、課題解決に繋げる取組を推進する。		協働のまちづくり支援制度を活用して地域協働に取り組む団体数		5団体(累計)	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	1	3				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH29新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H28活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH29の進捗状況(6月末現在)	H28成果実績
1	参画と協働の推進事業費(市民提案型協働事業)	人権・協働課	市民と行政が協働で人口減少問題に取り組むため、提案型市民協働事業を実施する。	○
	採択件数	2件	新規団体獲得に個別に声掛けを行い、提案団体となりうる団体には関係課からも事業の紹介などを行ってもらう。	2団体
2	参画と協働の推進事業	人権・協働課	持続可能な地域コミュニティの確立のため、地域活動推進員及び地域担当チーム等に向けた研修会を開催する。	○
	地域活動推進員及び担当チーム研修会の実施回数	1回	活動の違いについて取組発表会等の研修会を実施。具体的な拠点機能で各組織でできることを模索し構築する。	- 団体
3	地域自治組織運営事業	人権・協働課	持続可能な地域コミュニティの確立のため、地域自治組織の育成を図る。	○
	地域自治組織における市業務受託団体	1団体	活動の違いについて自治組織連絡協議会で意見交換や交流、取組発表会等の研修会を実施する。	- 団体
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。幅広い団体に参加してもらえるよう、事業を強化し勧めていくこと。その際、十分な公益性を持つ事業については、自立可能性に応じた財政的支援を別途行う必要があるのではないか。